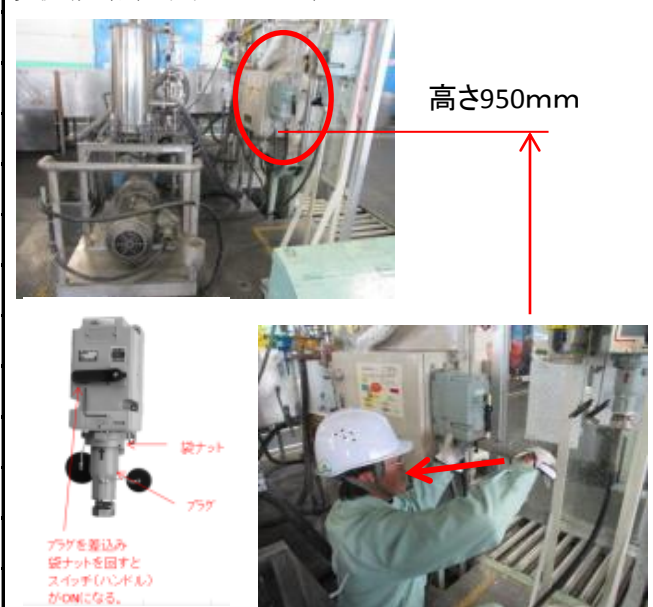


整理No.2018-24		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 2月 15日(木) 9時 00分 天候(晴れ) 温度()℃湿度()%			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日)			
被 者	部門	製造間接 部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()	
	年齢	不明	性別: (男) 女	勤続年数 10	経験年数 11ヶ月
者	傷病名	目外傷			
	傷病部位	目			
災 害 発 生 状 況	①	防爆型コンセントプラグの締め付けリングが硬く動かなくなったので、パイプレンチを使いリングを回そうとした。		状況概略(写真orイラスト) 	
	②	その際、しゃがんで作業をしていたので、リングの高さと目の高さが同じくらいになっていた。			
	③	リングにパイプレンチを掛けリングを回そうとした時、パイプレンチが外れ、パイプレンチの柄がメガネに当たり、その破片で目を損傷した。			
	災害の型 ^{※1)}	: 3 激突(当たる・ぶつかる)		作業の形態: 定常(非定常)、その他()	
	起因物:	パイプレンチ		特記事項 特になし	
原 因 分 類	1.人的要因(man): 用途の異なる工具による無理な作業 (早期復旧へのあせり) 不適切な作業姿勢(リングを見るために屈み、工具と目線の高さを合わせた)				
	2.物に関する要因(machine): 異物混入とネジ山の噛み込み(袋ナットは手で回せない状態)				
	3.環境要因(media): 設備の構造上、パイプレンチを押す方向には取り付けられなかった。				
	4.管理的要因(management): 異常設備の放置 (他にも動きの悪いコンセントあり)				
対 策	①事業所内の防爆コンセントの点検を実施する。硬いものは、修理または更新する。				
	②各種工具の正しい使用方法を、工務G内にて再教育した。				
	③無理な体勢での作業の危険を工務G内で再教育した。				
	④通常と違う、分からないと感じた時は、無理をして作業を続けず、一時中断して、助けを呼ぶ。 復旧が遅れそうな場合は当該部門長と工務部門長に相談する。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-6教育、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)